



学校教育目標

自ら求めて学ぶ心豊かな生徒の育成

三豊市立高瀬中学校

〒767-0011

三豊市高瀬町下勝間2725番地1

TEL 0875-72-3161

FAX 0875-73-6188

文責 長谷川 忍

ブラインド型避難訓練

災害は予測不能であり、その瞬間、私たちの判断力や行動力が試される場面です。しかし、私たちは完全に冷静かつ合理的に行動できるわけではなく、心理的に下に示すような“バイアス（先入観）”が邪魔をして、災害対応の妨げになることがあります。

1. 正常性バイアス………災害の初期段階で「まだ大丈夫だ」と思い込む
2. 楽観バイアス………「自分だけは大丈夫だ」と過信して動かない
3. 確証バイアス………自分に都合の良い情報だけを信じて警告を無視する
4. 集団同調性バイアス…周囲に流され考えずに自分も同じよう行動する
5. 情報過負荷バイアス…情報の多さに圧倒されて行動を先延ばしにする

※ 災害時の人間の心理は、上記1～5のように働いてしまう

そこで、高瀬中学校では、2月X日に地震を想定したブラインド型避難訓練を行う予定にしています。ブラインド型避難訓練とは、事前に生徒と教員の両者に訓練の進行やシナリオを与えず、想定のみ与える実践的な訓練のことです。この訓練を経験することで、いきなり地震の揺れを感じた場合にも、適切な行動を取れるようになることが期待されています。

ところで、災害が比較的少ない香川県の中で渇水の次に可能性が高いと言われているのが、南海トラフ巨大地震（マグニチュード8～9）です。気象庁地震火山部が発表している最新の情報（2025. 2. 7）によると、南海トラフで今後 30 年以内に発生する確率は 80%程度に上昇しており、昭和南海地震の発生から約 80 年が経過していることから、切迫性の高い状態と考えられています。

今回計画しているブラインド型避難訓練は、今まで行ってきた形式的な避難訓練ではなく、命を守るための実践的な学びの場と位置付けています。訓練を通じて心理的なバイアスを克服し、実際の災害に遭遇した時、迅速で冷静な判断を皆さん一人一人が下せるよう、日ごろからの防災意識と準備を大切にしてほしいと思います。

小惑星「2024YR4」

去年末に発見された小惑星が、現時点で 2032 年 12 月 22 日に 2.2%の確率で地球に衝突するおそれがあるという推定を ESA＝ヨーロッパ宇宙機関が発表し、今後も注意深く観測を続けるということです。この小惑星は去年 12 月 27 日に新たに発見され、直径は 40m～90mとみられています。この大きさの小惑星は数千年に 1 度の割合で地球に衝突していて、衝突した場合、地域に深刻な被害を与えるおそれがあるということです。ESA によりますと、長期間観測することで正確な軌道が特定され、地球に衝突するリスクがゼロになるケースが多いということで、今後も注意深く観測を続けることにしています。小惑星などをめぐっては、仮に地球に衝突すれば大きな被害が出るおそれがあるため、2022 年に NASA＝アメリカ航空宇宙局が小惑星に探査機を衝突させ、軌道を変える実験を行うなど、各国で対策の研究が進められています。（2月9日 NHK ネットニュース）



波線部を読んで安心しましたが、今後この小惑星についてしっかりと注視していきたいと思います。